

【学力向上に向けた今後の取り組み】

子どもたちに確かな学力を身に付けさせるためには、教育委員会、学校はもとより、家庭や地域とも連携した取り組みを進めることが必要です。以下には、今後、それぞれの役割に応じて進めたい（進めてほしい）方策を示しました。

教育委員会

学力向上のための取り組みを平成20年度函館市学校教育の重点に位置付けます。

「確かな学力」向上のためのプロジェクト推進委員会の組織強化と本委員会による検査結果の分析及び指導改善のポイントの提示など、学力向上のための取り組みを進めます。

学力向上を研究テーマとした指定校（モデル校）による研究を推進し、成果を各学校に還元します。

各学校の改善プランに基づき、指導主事による学校教育指導等の支援を強化します。

授業改善に向けた公開研究授業を実施します。

「家庭学習の手引き」（仮題）の作成等、家庭における望ましい生活習慣や学習習慣確立のための取り組みを推進します。

各学校

子どもの実態をとらえた学力向上プランの作成

本市が実施する学力検査や「全国学力・学習状況調査」の調査結果を活用し、子どもの学力の状況を把握し、課題を明確にします。

子どもの学力向上に向け、改善の方策を明確に位置づけ、その推進体制を確立します。

子どもの学力向上に向けた課題を解決するための組織的な校内研修を推進します。

学校の学力向上に向けた改善プランや方策を、家庭や地域に発信し、理解や協力を求めます。

学力向上に向けた具体的な取組の推進

基礎的・基本的な内容の確実な定着を図るため、次のような指導体制や指導方法の工夫・改善を図ります。

- ・問題解決的な学習や、実験、算数的な活動、言語活動などの体験的な活動の重視

- ・ティーム・ティーチング，習熟の程度に応じた指導や少人数による指導等，指導体制の工夫改善

- ・繰り返し学習や補充学習，発展的な学習の実施

- ・学習ボランティアなどの地域人材の効果的な活用 など

子どもたちの思考力，判断力，表現力等をはぐくむため，レポートの作成や論述など，身に付けた知識・技能を活用する学習活動を各教科で工夫します。

子どもの学習習慣確立のため，家庭学習の意義などにかかわるオリエンテーションを実施したり，家庭学習と学校の授業の内容の関連を図るなど，家庭学習を支援する取り組みを展開します。

朝読書など，子どもの読解力の基礎を養う読書活動などを学校や家庭で積極的に実施します。

学ぶ意義を考え，学習への意欲を高める職場体験学習や，進路学習を推進します。

学力向上プランの検証・改善

評価の指標を明確に定め，前年度の学力検査等との比較・分析や，保護者や児童生徒のアンケートにより，取り組みの成果を検証します。

検証により明らかとなった成果と課題を踏まえ，目標や内容，児童生徒の実態等に応じた指導方法や指導体制を改善します。

学力向上プランを計画的に検証し，その結果や改善の方策を家庭や地域に発信します。

家 庭

「早寝・早起き・朝ごはん」の励行や望ましい生活習慣づくりに向け，親子でルールを話し合うなど，基本的な生活習慣の確立に向けた取り組みを行います。

家庭での望ましい学習習慣や読書習慣づくりに向け，学校と連携した取り組みを行います。

地 域

子どもの登下校や生活環境の安全，規範意識，礼儀やモラルの育成など，子どもたちの様子を温かく見守りながら，学校や保護者と連携し，子どもの健全育成に積極的にかかわります。

地域人材としての参加や，体験学習や見学の受け入れなど，教育活動への協力を通して，子どもたちが地域の大人とのふれ合いやふるさとへの愛着を深めるために，積極的にかかわります。